



この一般質問の映像はこちらから

■ 栃木県北30万人都市構想について



竹原 亜生

質問

県北20〜30万人都市構想は

町 当面は町民の意見を聞く

那須塩原市長が表明した、県北20〜30万人都市構想に対する町の考えは。

問

答

(町長) 現段階では、町民の意見や様々な声に耳を傾けていく時期と考える。



栃木県北20〜30万人都市構想

問

関係市長はすでに考えを示している。町長は、20〜30万人都市構想について町の最高責任者としてどのように考えているのか。

答

(町長) 御用邸がある町であり、観光と農業により独り立ちできている町である。自信を持って那須町政を進めていくことが、今考えていることである。また、30万人都市構想に飲み込まれてよいのか、しっかりと判断したい。さらに、平成の大合併で失敗した例の方が多いという声も聞いているので、精査していく。町民一人一人がこの判断でよかったと思える判断を出すまでは、皆さんの声を聞いていきたい。

■ 学校給食について

質問

学校給食に有機米提供の考えは

町 安定的な数量を確保できれば考えたい

国の第3次食育推進基本計画では、学校給食の地元食材の使用比率30%以上を目標としている。地元食材使用比率の目標を定める考えは。

問

答

(学校教育課長) 数量の確保などの課題があり、各学校の購入体制が整っていないため、現時点での目標設定は困難である。現在、国産食材90%、その内県産食材30%、さらに地元食材9%となつている。目標設定については、今後、農林振興課と協議、検討する。

問

答

千葉県いすみ市では市長の熱い思いで有機米給食を実現した。町の考えは。

(町長) 有機米については、計画的安定的数量の確保、また、配送の条件が整うよう頑張っていく。是非、地元有機米を使うべきと考えている。

問

(学校教育課長) 有機米の安定的確保、価格面の折り合いがつけば、供給は可能と考える。



千葉県いすみ市の有機米

※ほかに「自治会運営について」「公共施設再編計画」の質問もしています。